

オナガガモ（カモ科） 全長オス75センチ メス53センチ

冬鳥のハクチョウやカモ類、ガンなどが繁殖地に向う季節となった。

3月中旬、雄物川中流域でオナガガモの大群が見つかった。オナガガモは他のカモ類より数が圧倒的に多く、飛来した沼や川面を一面覆い隠す程である。雄物川では1000羽をはるかに超える大群であった。これほどの数をまとめて観察することが出来るのは、この季節だけでしょう。



オナガガモに埋め尽くされた水面。

何かの合図で、水面から一斉に飛び立つ光景は見ごたえがあります。上空から川に戻ってきたオナガガモは、全員流れに身を任せて下って行きます。

ある決まった場所まで流れ着くと、再び飛び立ち上流へと向かいます。こんなことを何回も繰り返しているが、何の意味があるのでしょうか。

これを見て、子供が滑り台で何回も遊んでいる光景が目には浮かびました。



左メス、右オス。



一斉に飛び立ったが、下のカモは間髪入れずに後を追った。

何百羽のカモが一糸乱れずに右へ左へと急旋回を繰り返している。一斉に向きを変えるスピードは零点1秒以下でしょう。いったい誰が先導しているのかも分からない早業である。

人間をはるかに凌ぐ能力に圧倒されました。



奥羽山脈を背景に旋回する。



一斉に向きを変えた。